

〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立に向けてストレスに負けない生き抜く力を育む。

児童発達支援 ソシリッサ 支援プログラム

〈法人（事業所）理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立に向けて、家庭環境や発達の特徴等様々な困難に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心して過ごせる居場所を目指す。



〈営業時間〉

月曜日～金曜日

9:00 ～ 17:00

〈送迎の有無〉

あり

本人支援

〈健康・生活〉

「自分で整える力」

身支度や持ち物の管理などを通して、生活を自分で整える力を育てます。
その日の体調や気持ちに合わせてながら、安定して過ごせる力を育みます。

〈運動・感覚〉

「体と心を整える」

感覚あそびや身体あそびを通して、のびのびと体を動かします。
動くことの心地よさを感じながら体と心のバランス感覚を育てます。

〈言語・コミュニケーション〉

「思いをことばに」

友だちやスタッフとのやりとりの中で、自分の思いや考えを伝える経験を重ねます。
相手の話を聞き、応じる力も育てながら伝え合う力を広げていきます。

〈認知・行動〉

「考えてチャレンジ」

活動の中で見通しを持ち、自分で考えて取り組む力を育てます。
うまくいかない場面でも、どうすればよいかを一緒に考えながら、行動の幅を広げていきます。



〈人間関係・社会性〉

「みとめあう気持ち」

友だちとの関わりの中で、協力することや役割を持つ経験を重ねます。
違いに気づきながら、互いを尊重し合う気持ちを育てていきます。

〈家族支援〉

発達支援の様子等を連絡帳（保護者連絡ツール用アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談を行い支援について共有しています。

本児が自分で考え、選択できるように一緒に具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。

〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとの関わりについてなど伝えてスムーズに移行できるよう連携をとっていきます。

高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋がっています。

自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○おもちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書室利用、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）